鹿児島県立鶴丸高等学校広報紙

好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴信

第54号　H22. 9. 3

鹿児島県立鶴丸高等学校
〒890-8502　鹿児島市薬師二丁目1番1号
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

9月の行事予定

9		月
1	水	1年マスゲーム(6,7限)
2	木	
3	金	2年マスゲーム(6,7限)
4	㊏	悠学講座③(3年最終回) スクールカウンセリング
5	㊐	
6	月	全校朝会
7	火	3年実力考査時間割発表 集団訓練(7限)
8	水	1, 2年合同練習(5,6限) 体育祭各係会(7限)
9	木	体育祭準備・予行(3年1限授業)
10	金	体育祭予行予備日 1, 2年合同練習(6,7限)　学校安全の日
11	㊏	**第62回体育祭**
12	㊐	体育祭予備日
13	㊊	体育祭代休日
14	火	**3年実力考査(1日目)**
15	水	**3年実力考査(2日目)**
16	木	
17	金	第4回職員会議
18	㊏	悠学講座④
19	㊐	警察官採用試験
20	㊊	敬老の日
21	火	
22	水	
23	㊋	秋分の日
24	金	**前期終業式**　大掃除 1・2年学力検討会
25	㊏	
26	㊐	
27	月	秋季休業日
28	火	秋季休業日
29	水	秋季休業日
30	木	秋季休業日

修学旅行報告

二学年主任　水迫　達郎

平成22年度の修学旅行は、首都圏で活躍される先輩方の職場訪問（GO鶴セミナー）を大きな柱として、7月14日（水）～16日（金）の3日間で実施された。前年度との大きな違いは、航空機往路の交通機関がフェリーから航空機に変り、②研修先は関西を除いて首都圏のみとし、概ね一昨年までと同じ旅程を取ったことだった。

東京同窓会の田中会長・小屋敷副会長は、昨年度の修学旅行の反省を基に、4月から同窓会各位にGO鶴セミナーの受け入れ依頼を開始し、5月末までに延べ48の受け入れ先を用意していただいた。関東地区の同窓会で千人を超える卒業生を集める大組織とは言え、一日で三二〇名に及ぶ鶴丸高校2年生に研修機会を用意するには、想像を絶する苦労があったと聞く。鶴信54号の紙面を借りて、先輩方に深く感謝申し上げる。

旅程を改めて振り返ってみる。第1日目、14日（水）は学校集合時間を午前6時とし、鹿児島空港に向かった。大きな遅滞もなく搭乗手続きを終了し、空路羽田へ。機内は和気あいあいとした雰囲気で、期待感と程よい高揚感が満ちる。羽田空港到着後「はとバス」に乗車し、クラス別研修先に向かう。今年の研修先は、お台場周辺3学級、渋谷方面2学級、横浜方面2学級、鎌倉方面1学級で、学級内の親睦が深められた。夕刻になり、各学級の出桟橋に集まる。夕食は豪華に2時間半のディナークルーズだ。18時30分過ぎに出航し、レインボーブリッジをくぐり、お台場、有明地区（旧夢の島沖）、浦安沖を巡る。昼間は風の強い日だったが、大きなる揺れも船は進む。ビュッフェ形式の食事を楽しみ、甲板に出て心地よく風に吹かれながら首都圏のオフィスビル海の明かりを遠くに、行き交う船舶の航灯を近くに見る。食事と夜景を堪能し、羽田沖に回り飛行機の離発着光景を見ながら日の出桟橋に帰着。急ぎ足でバスに乗車しホテルに向かう。正副委員長と男女体育委員は打ち合わせ会を行い、男女別に連絡事項を各室に伝える。

第2日目、15日（木）の午前中は修学旅行の柱となっているGO鶴セミナーである。午前6時30分に眠い目をこすりながら起床、朝食会場へ向かう。食事後は、グループごとに先輩の職場訪問に向かう。事前の準備の充実と先輩方の満々たる受け入れ態勢のおかげで、有意義な学習ができた。何人もの生徒たちが「先生、とても素晴らしい職場訪問ができました」と話しかけてくれて、嬉しい限りだった。ディズニーリゾートへは15時までには最後のグループが入場。足早にねらっていたアトラクションに向かう。楽しい時間に過ぎ、ナイトパレードを迎え、満足感と名残惜しさが複雑に入り混じりながらホテルへと向かう。ホテルに着き部屋に入るとさすがに二日間の疲れをずしりと感じる。ベッドに倒れるようにして眠りに就く者が大部分だが、時間を惜しむように友人たちと話し込む強者もいる。夜も更けてようやく就寝。

最終日の16日（金）は出発まで荷物をまとめて朝食会場に集合。食事会場の外に、個人の荷物を置いて駐車場を始める。ホテルから学校へ向かう。東京大学正門に東京大学先輩たち9名が迎えてくれた。各学級に付いてもらい本郷キャンパスを案内してもらう。中に付属図書館の中を見せてもらう。1時間半ほどの見学。先輩方に挨拶をし交わす。次なる訪問先は立博物館を中心とする上野の森である。ここでサプライズ一つ。何と徳田先生と同級生で野球部の格闘技の世界に身を投じたプロ格闘技の先輩が応援に駆けつけてくれた。高校2年生で現高校総体柔道の軽量級を制しながら、3年時に1年生の選手に敗れたことをきっかけに格闘技の世界を目指す決意をした経緯を持つ先輩は、試合に臨む時と同じ真剣な表情で「本気で自分の目標を目指す」ことの大切さを説いてくれた。最後まで手を振りながら見送ってくれる姿にも強い「プロ意識」を見ることができた。上野から足早に昼食会場のある浅草へ。昼食を終えると解散式の運びとなった。

修学旅行のしおりの巻頭言でも触れていただいたが、校長先生から「首都圏で活躍すいたが、校長先生から「首都圏で活躍する先輩のエネルギーを高校生活に生かせる」と挨拶をいただき、改めて気持ちが引き締まる。バスに乗車し羽田空港へ。手際良く搭乗手続きを行い、予定通り16時30分に離陸し鹿児島空港に到着。鹿児島中央駅を経由して、全員が無事に帰着した。

学年主任として2回目の修学旅行を終えて感じるのは、今学年の持つ行動力と目的意識を持って動く集団の力強さである。それは生徒各個人に当てはまるし、後輩を大切にする先輩方の態度にも当てはまるし、陰になり日向になり生徒を指導する先生方の姿勢にも当てはまる。そして、一人一人を支える家庭の力が結集できれば、可能性は無限に広がる。

将来への大きな展望が確信できる意義ある修学旅行だった。

鶴岡八幡宮にて(28R)

先輩に学ぶ進路講演会（1学年）

7月24日（土）、土曜悠学講座の中で、1年生を対象に鹿児島大学の3年生～4年生の先輩を講師に迎えて、進路講演会が開かれた。先輩方が各学部・学科の専門課程でどのようなことを学んでいるのか、その学問が社会にどう関わっていくのか、ということを聞くことを通した1年生は進路を考えるよい機会としていた。先輩方は、まとめとして「進路は自発的に広く研究し、自分の責任で選択すること。そのために精一杯努力すること」とおっしゃった。1年生が真剣に進路探求することを期待したい。

中学生一日体験入学

8月2日（月）・3日（火）の両日、中学生一日体験入学が行われた。今年は五七六名の中学3年生の参加があった。中学生たちは本校職員や生徒会執行部から学校の説明を受けた後、本校OBの東京大学4年生の2名から高校生活のアドバイスを聞き、積極的に質問をしていた。その後、体験授業に参加するなどして高校生活への期待をふくらませていた。

Kathryn先生（新ALT）あいさつ

My name is Kathryn Castle. I come from England and will be your English teaching assistant for this year. I'm very pleased to meet all of you.

This is my first time in Japan. It's very exciting to be here in Kagoshima and I am looking forward to exploring the prefecture.

I'm really looking forward to getting to know you all and joining you for English classes. I hope to take part in club activities, too. Please come and say hello!

ALEX先生　退任の挨拶

謝辞

たくさんの感動を与えていただき心から感謝しています。皆さんはとても忙しく毎日を過ごしています。一人ひとりが常に笑顔を絶やすことなく、どんなに忙しくても心の強い大人だと感動しました。校是「フォーリーズ」、日々の精神を見せる中に、互いを助け合う姿もあった。これらの何気ないが行動がとても楽しく仕事をすらこそ、私は鶴丸高校でとても楽しく過ごしたことを知ることができました。本当にありがとうございました。皆さんとのことを知ることが多少はありますが、皆さんとのことを楽しい会話、とても親切にされた日本語や日本文化のことなど、暖かく受け入れられたこと、どれもこれも決して忘れることはできないでしょう。

英語学習をする理由として、大学入試に必要だからという理由をあげる人が大多数でしょう。しかし、それ以外にも理由がありました。一つの言語を知ると、いろいろな人とコミュニケーションがとれるようになります。皆さんは読み、書き、聞く3つの能力には優れていますが、話す能力に関しては、どうも消極的な人が多いようです。臆することなく、英語を話してみてください。間違いを恐れるのではなく、積極的に話しましょう。間違いから真の学びが生まれます。これからも寂しくなりますが、皆さんの何事にも精神やギリスの思いやりの姿勢や思いやりの精神を持って帰りたいと思います。お元気で。

定期演奏会

8月20日（金）、宝山ホールで音楽部の定期演奏会が行われた。合唱部・吹奏楽部・ブラスバンド部・吹奏楽部の定期演奏会の幕を開け、打楽器アンサンブルによるモーニングスペシャルが続き、音楽部・吹奏楽部のステージでは、趣向こらした演奏出で時にユーモアを交えながら、芸術的な演奏が次々と展開された。OBの方々とのレクリエーション、そしてアルコール合同コーナーでは、客と例年以上にステージとの一体感のあるスペシャルの展開があった。また、裏方の生徒会執行部や放送部張っての活躍も付記したい。